

令和8年度第1回高齢者施策推進委員会へのご意見・ご質問

	質問・意見	対応案
1	リハポート明石のサービス拡充について 【資料2目標5(2)】	
	利用率が80%を切っているが理由を教えてください。 特養であると90%でも稼働率が低いと思います。	利用率が低い明確な理由を特定することは困難であります。ただ、区としては利用率が80%を下回る理由として、接遇力や施設の魅力不足などがあると考えられます。 そのため、新たに外部講師による接遇研修を実施するとともに、継続的な電話・FAX及び訪問営業により、施設の利用率向上に向けた取り組みを行います。
	リハビリテーション啓発用パンフレットとはA4のチラシでしょうか。	「訪問リハビリテーションのご案内」というA4判を折り畳んだ冊子となります。 なお、「リハポート明石」施設の案内パンフレットにより啓発を行っています。
	運営状況の透明性や質向上の会議は開催されているのでしょうか。 古い施設なのに掃除が行き届いているので、有効に活用してほしいです。	区による指定管理者評価のほか、区、医師会、リハポート明石の三者による協議会、定期的な内部研修、階層別の研修を実施し、サービスの向上に取り組んでいます。
2	区独自の介護事業所の雇用について 【資料2目標5(3)】	
	今働いている介護職が中央区から流出しないようにする区独自の手当など検討されていますか。	介護職の区外への流出理由の一つに、都心区である本区では住宅費の負担が大きいという現状があります。 そのため、介護サービスを提供する事業者に対して、介護職員の宿舍借上げを支援し、住宅費負担を軽減する宿舍借上げ支援事業を実施しており、介護職員の働きやすい職場環境を実現し、介護人材の確保定着を図っております。 現在、区独自の手当についての検討は行っておりませんが、今年度から介護保険サービス事業者連絡会やホームページをより積極的に活用し、区やハローワーク等の介護人材確保・定着に関する周知に努めてまいります。